

基本設計の概要について

～ 国保病院改築事業～



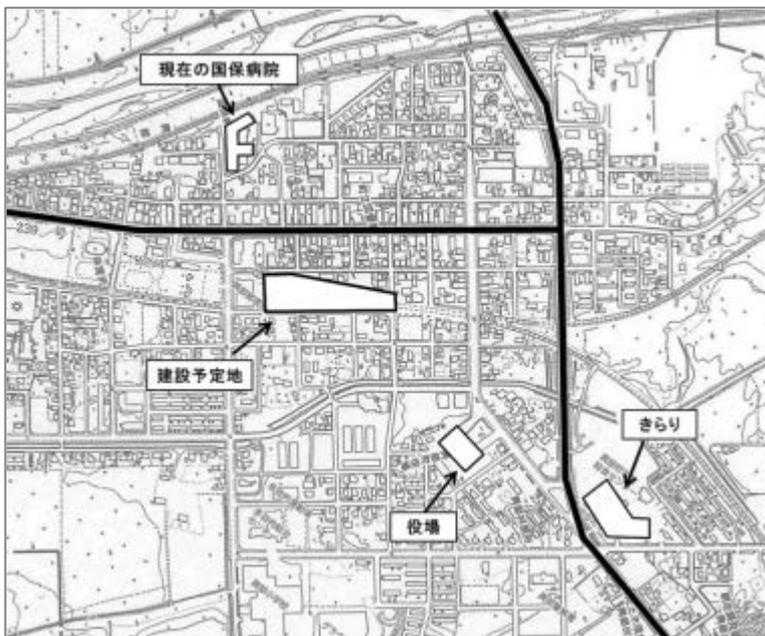
昭和53年に建設された興部国保病院は、建物の老朽化が著しく、療養環境の改善や医療機能の充実が求められてきました。このため町では新たな国保病院の建設を重点施策と位置付け、昨年の基本構想・基本計画の策定を踏まえ、将来における持続的な病院の運営に必要な施設の整備に向けて着手しました。この度、昨年秋より進めて参りました基本設計の考え方がまとまりましたので、その概要をお知らせします。

この基本設計では、基本構想・基本計画などで提示された設計と条件を整理したうえで、建物の配置・平面と空間の構成・備えるべき機能や性能・内外のデザインなどを基本設計図書としてまとめております。

1. 建設予定地及び施設配置計画

位置 興部町仲町（興部陣羽曳馬場横手）
敷地面積 約8,300㎡
駐車場 95台
医師住宅 3戸

■新病院の位置図



2. 新病院の概要・階層構成

建築面積 2,419㎡
延床面積 3,905㎡
階数 地上2階、塔屋1階（屋上機械室）
構造種別 鉄筋コンクリート（杭基礎）
建築高さ 9.3m（最高部高14.3m）
病床数 50床（一般32床・療養18床）
診療科目 内科・外科・皮膚科・※泌尿器科・
※小児科・※整形外科・※眼科

（※科目は専門医による派遣確定時に標榜）

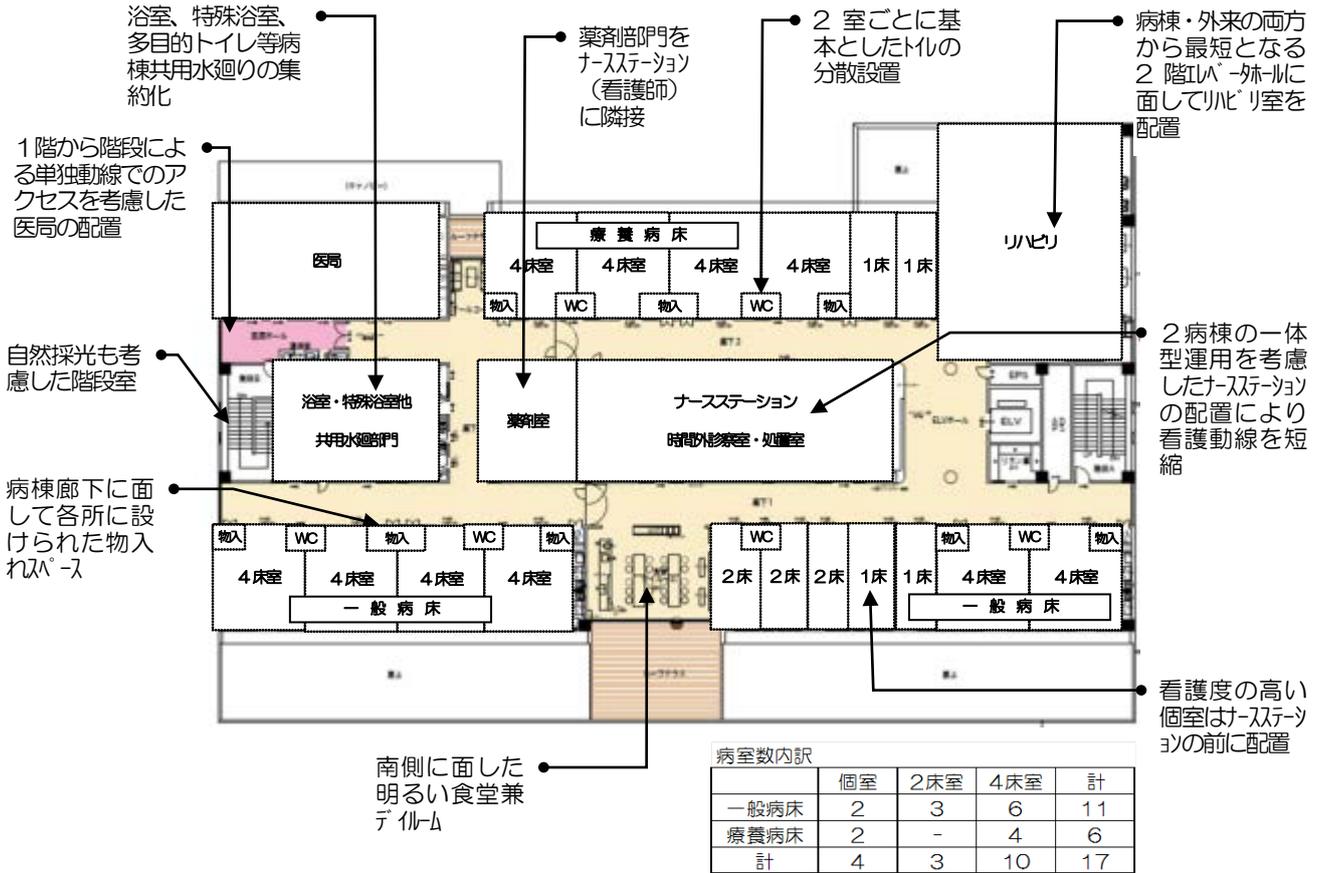


3. 設計の基本方針

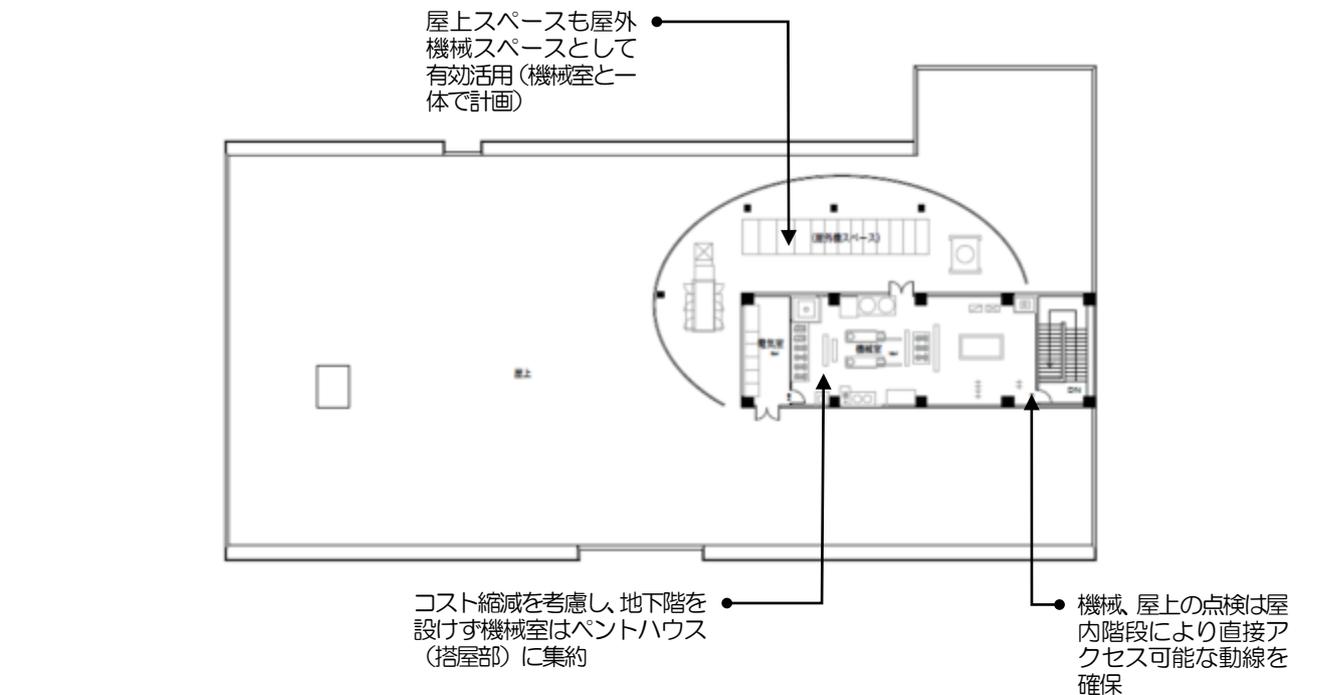
- ① 地域の人々が気軽に訪れ、安全で快適な施設
- ② 利用者にわかりやすいシンプルな平面構成
- ③ 時代の変化に伴う新たな町民要望・医療技術・医療行政に対応し、柔軟に増改修できる施設
- ④ 全ての人に使いやすい快適な施設をつくるため、ユニバーサルデザインの導入
- ⑤ 使用時間帯を考慮した部屋の兼用と可変性の導入により、諸室の利用率を高め、効率的な運用が可能な施設をめざします。
- ⑥ コストバランスがよく、ライフサイクルコストを縮減した施設
- ⑦ 環境対応に配慮した施設
- ⑧ 災害に配慮・対応した施設
- ⑨ 周辺環境に配慮した建物デザイン・地場産材の活用



2階平面図



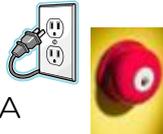
塔屋階（屋上機械室）平面図



5. 主要設備計画

- 熱源：灯油焚真空温水ヒーター（暖房・給湯用）空冷リフトユニット（冷房用）
- 暖房：温水パネルによるふく射暖房
- 冷房：ファンコイルユニット又は水熱源ヒートポンプユニットによる冷房
- 給水：受水槽(有効容量 20 m³)に貯水し加圧給水ポンプで各所に送水
- 給湯：貯湯槽(1,500 lit)2基から各所に給湯
- 厨房：ドライトラム厨房、主熱源はLPG
- 医療ガス：全床に酸素・吸引アウトレット設置

6. 主要電気設備計画



- 受変電：屋外柱上式、容量 1000 kVA
- 発電機：非常用屋外ポンプ型、容量 250 kVA
- UPS：手術室などの無影灯、緊急出力用として設置
- 照明：各室は蛍光灯を主体、共用部はLEDを採用
- ナール：親機はボート型とシグネィナス（PHS）と連携
- 防災：非常照明、誘導灯、非常放送設備、自動火災報知設備を設置

7. デザインコンセプト

①外部デザイン

興部の街並に調和した、さわやかで温かみのある、落ち着いた外観デザインとします。来院者を温かく迎えられる（ホスピタリティ）と同時に、周囲に対しても緑あふれる、良好な景観形成をめざします。

外観イメージパース



※このイメージは、今後の実施設計や工事の過程で諸条件により変更する場合があります

②内部デザイン

病内のインテリアデザインは、患者に対して優しく温もりのある、明るく清潔で快適な環境づくりをめざします。



外来待合ホールイメージ

8. 概算事業費

用途	工事区分	工事費等（千円）
建設工事	建築主体工事	627,000
	電気設備工事	205,000
	空調給排水衛生設備工事	308,000
	小計	1,140,000
		(1 m ² 当り) 291,933円
付帯工事	外構・駐車場・医師住宅	147,000
その他	測量・設計及び設計監理費	56,000
	機器・システム・備品	265,000
合計		1,608,000

9. 概略工程計画

開院予定 平成 27 年 4 月

	H25	H26	H27
実施設計	→		
建設工事		→	
外構駐車場			→
医師住宅			→
機器備品等			→

お問い合わせ 興部町国保病院 改築準備室

電話 82-2310 (内線 45)